

献立（レシピ）のデジタル化、産官で共同開発を開始！ 全国にパートナーを募集

2014年7月14日

全国国立病院管理栄養士協議会
株式会社グローバル・アイ
住友商事マシネックス株式会社

全国国立病院管理栄養士協議会^{※1}（以下、国栄協）、株式会社グローバル・アイ（大阪市、代表：田崎和弘、以下、グローバル・アイ）及び住友商事マシネックス株式会社（東京都、代表：那須雄次、以下、住商マシネックス）は、産官連携して国民の健康づくりや在宅療養者の食生活面から支援することを目的に、国栄協が蓄積した治療食・療養食・改善食（以下、機能食）の献立（レシピ）、調理ノウハウのデジタル化^{※2}（以下、デジタルレシピ）の共同開発を7月14日より開始。11月の全国配信開始に向けて、配食会社やお弁当チェーンなどのパートナー企業を募集します。

本共同開発では、国栄協に所属する北海道から沖縄まで、全国164施設に勤務する管理栄養士・栄養士が病院施設内で提供している科学的根拠（エビデンス）のある献立（レシピ）をもとにデジタルレシピの構築をおこないます。全国6グループ（北海道東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国四国、九州）に分け開発された、それぞれの地域特色を生かしたデジタルレシピを、グローバル・アイが開発した機能性食調理支援システム「アイ・システム」^{※3}を活用して、食品会社（配食・惣菜・お弁当）へ配信し、在宅療養者への宅配や、スーパーの惣菜売り場などでの機能性食の普及をめざします。さらに、一般家庭へはインターネットを介してレシピを無料閲覧できるようにします。共同開発と並行し、当月よりパートナー企業の募集概要をグローバル・アイのWEBサイトに掲載するとともに、住商マシネックスと普及活動を行います。

国栄協、グローバル・アイ、住商マシネックスは、機能性食デジタルレシピの配信を通じて、在宅療養、高齢者の在宅療養の支援をするとともに、国民の健康づくりに寄与して参ります。

【全国国立病院管理栄養士協議会との取組み概略図】



●共同研究の流れ、パートナー募集については下記 URL をご査収ください

<http://www.glocal-i.com>

※1 全国国立病院管理栄養士協議会 <http://kokueikyo.jp/>

「全国国立病院管理栄養士協議会」（略称：国栄協）は、昭和34年（1959年）4月に「国立病院療養所栄養士協議会」として、全国の旧国立病院・国立療養所によって構成組織され発足。

現在は、独立行政法人国立病院機構（略称：NH0）に所属する病院143施設、国立高度専門医療研究センター（独立行政法人国立がん研究センターや国立循環器病研究センターなどの所謂ナショナルセンター）8施設、ハンセン病療養所13施設によって構成され、北は北海道から南は沖縄まで全国164施設に勤務する管理栄養士・栄養士によって運営されている団体。

※2 献立（レシピ）、調理ノウハウのデジタル化

献立（レシピ）をもとに、下ごしらえ・食材カット・味付け方法・調理工程などの調理ノウハウ、食材の量、調味料等の分量をデジタルデータ化したものです。

※3 「アイ・システム」

クラウド上に保有しているデジタルレシピをインターネット配信して、そのデジタルレシピを厨房内に表示するとともにスチームコンベクションを制御して、使うことで誰でも簡単に本格的な調理ができる機能性食調理支援システム。食材の受発注やレシピと連動した調理に関する業務全般を支援することができる。

国立循環器病研究センター（大阪府）とグローバル・アイとの共同研究を通じて、アイ・システムはデジタルレシピ「かるしお」の配信を行っている。このシステムの開発・普及は、経済産業省新連携認定事業、大阪市経済戦略局がおこなっている大阪トップランナー認定事業。

本件に関する問合せ先

全国国立病院管理栄養士協議会：広報部長 浅井慎悟 NHO 七尾病院
(TEL) 0767-575140

株式会社グローバル・アイ：経営企画 足立尚樹
(TEL) 06-6533-8877

住友商事マシネックス株式会社：建築設備部 中濱達也
(TEL) 06-6228-1819